

### ◆湯渡戸橋(宮城県仙台市青葉区作並)の旧橋撤去の現場を見学！[R6.7.29]

- 湯渡戸橋は国道48号作並地区に架かる橋梁です。有効幅員が狭いため交通事故リスクが高く、老朽化が進行していたため、令和4年9月に新しい橋を架け替えました。現在は、旧橋の撤去を進めています。
- 従来の橋は隣接する新しい橋の交通を止めることなく撤去を進める必要があったため、ワイヤソー工法という特殊な方法を用い、構造物の解体・撤去を行っています。
- 現場見学会では実際に施工している様子を間近で見学することができました。また、新しい橋の検査廊に立ち入り、新しい橋の構造を実際に見て学ぶことができました。

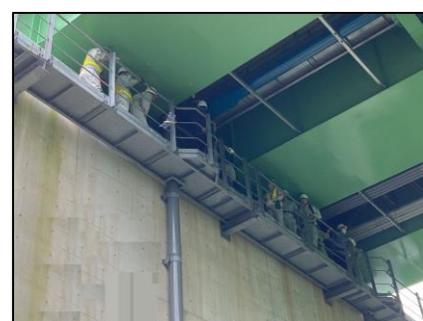
①



②



③



湯渡戸橋旧橋撤去現場の様子。新しい橋が隣接しているため、ワイヤソー工法により撤去を進めています。手前の橋脚は解体が終わり、奥の橋脚をワイヤソー工法で解体しています。(写真①)  
受注者の方に解説していただき、施工の様子を間近で見ました。(写真②)  
出張所職員もあまり立ち入らない新しい橋の検査廊に立ち入り、箱桁等を観察しました。(写真③)

### ◆見学した若手職員の声



現場は近接する観光施設があるため騒音等も考慮しワイヤソー工法を採用していることを知り、**現場環境に合わせた施工方法を採用する重要性**を実感した。



新しい橋の検査廊に入り、橋梁の点検作業や箱桁内部の構造を学ぶことができた。

#### ～ひとこと～

維持管理事業の経験が少ないため、旧橋撤去の現場を見学できとても貴重な体験でした。湯渡戸橋のように施工から数十年経過し設計基準が古くなり、架け替えが必要な橋梁は今後も増えていくと思うので、自分が管理に携わる際には今回の現場見学を参考に業務に励んでいきます。